

平成27年1月5日

各 位

会社名 株式会社メディビックグループ
代表者名 代表取締役社長 喜多見 浩次
(コード番号 2369：東証マザーズ)
問合せ先 取締役CFO 疋田 賢司
(Tel: 03-5439-9691)

当社連結子会社とメディカルテクノロジー&マネジメント株式会社との 業務提携に関するお知らせ

当社100%連結子会社である株式会社アニマルステムセル(以下アニマル社はという。)は、平成26年12月30日開催の取締役会において、メディカルテクノロジー&マネジメント株式会社(以下メディカル社という。)と間で遺伝子検査事業及び再生医療事業、さらにビッグデータ解析事業に関する業務提携を行うことで決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業務提携の理由

当社グループは、遺伝子、再生医療、ビッグデータ解析という3つの技術を中心として事業を展開しております。遺伝子検査では薬物代謝酵素遺伝子やアルツハイマー遺伝子などの検査業務を請け負っており、今後も様々な新規の解析メニューの開発を行う予定です。

また、再生医療では動物だけでなくヒトの分野でも脂肪由来幹細胞の技術開発を行ってまいりました。ビッグデータ解析では、臨床データや遺伝子データ、さらにはライフログを統合的に解析することで予防医療サービスの開発に努めてまいりました。

このような様々な技術開発で得られた成果を医療サービスとして展開するためには、医療の現場、つまり病院の流通ネットワークが必須となります。

メディカル社が有する全国300以上の病院ネットワークは、当社グループの弱点を補完し、今後の事業を大きく成長させるものとなります。

2. 業務提携の内容

メディカル社では病院経営のコンサルティング業務を主として事業展開しております。そのため、病院経営に対して積極的に関与し、収益拡大につながるサービス開発を継続的に行っております。今回のアニマル社との提携により、メディカル社は提供できるサービスの幅が拡大し、当社グループは技術の流通を促進させることが可能となります。

具体的には、メディカル社が有する顧客(病院)に対して、幹細胞による専門外来の事業開発を展開するときに、アニマル社がハード面とソフト面による幹細胞技術の提供を行います。ハード面では、培養設備や装置の開発及び提供、ソフト面では運営に関わるすべてのソフトウェアシステムの開発を請け負うこととなります。

また、院内での検診サービスメニューの一つとして遺伝子検査も提供する予定です。さら

に、院内に蓄積される様々なデータを解析することで、医療の質を高めて、病院経営の効率化や収益の拡大を計ることに努めます。

3. 子会社の概要

① 名 称	株式会社アニマルステムセル
② 所 在 地	東京都小金井市中町二丁目 24 番 16 号
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 窪島 肇
④ 事 業 内 容	再生医療事業
⑤ 資 本 金	60 百万円

4. 業務提携先の会社概要

① 名 称	メディカルテクノロジー&マネジメント株式会社	
② 所 在 地	東京都千代田区丸の内一丁目 8 番 3 号	
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 椎葉 俊尚	
④ 事 業 内 容	医療コンサルティング事業	
⑤ 資 本 金	20 百万円	
⑥ 設 立 年 月 日	平成 20 年 2 月 1 日	
⑦ 発 行 済 株 式 数	400 株	
⑧ 大株主及び持株比率	オフィス椎葉株式会社 51.0%、椎葉俊尚 15.0%、椎葉美由紀 15.0%. (平成 26 年 12 月 1 日)	
⑨ 上場会社と当該会社 の間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への 該当状況	該当事項はありません。

※最近 3 年間の経営成績及び財政状態につきましては、当社として確認はいたしましたが、先方の要望により情報開示されていないため記載いたしていません。

5. 業務提携の日程

平成26年12月30日 取締役会にて承認

平成26年12月30日 合意書調印

平成27年 1月下旬 事業開始予定

6. 今後の見通し

平成26年12月期の当社グループ業績への影響につきましては、本業務提携を含む再生医療事業関連で2億円の売上が計上されますが、平成26年11月12日発表の業績予想に織り込み済みであります。また、中長期的には、当社グループの業績の向上に資するものと考えております。

以 上